



▲ラブリーホールで開催する年末の定期演奏会。
みなさんの来場をお待ちしています。

地域で活動する吹奏楽団

河内長野吹奏楽団 ブルーウインズ

河内長野市内の様々なイベントなどで活動する吹奏楽団「ブルーウインズ」。今年8月に開催された大阪府吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、関西大会に出場。そこでは、銀賞を獲得しました。団長の浜田俊毅さんは「関西大会に出場する団体は、レベルの高い楽団がほとんどです。一般の吹奏楽愛好者の集まりの私たちの楽団が、そこで演奏できたことは誇りです」と話します。

平成4年に、市内の中高校の吹奏楽部の卒業生が集まって演奏会をしたことが楽団結成のきっかけです。それ以降、河内長野市を中心に19年間活動しています。現在の楽団員は58人。高校1年生から40歳の社会人まで幅広い年齢のメンバーで構成しています。「長期間活動できたのは、楽器を演奏することが大好きなメンバーが集まったこと。何より多くの皆さんに支えていただいたおかげです」と浜田さんは話します。そして「毎年年末にラブリーホールで入場無料の演奏会を開催しています。みなさんに楽しんでいただけるよう演奏希望のアンケートを取り、翌年の演目にしていきます」と観客に楽しんでもらえることを第一に考えています。しかし、そのためには演奏技術の裏打ちが必要です。個人の技術はもちろんのこと、楽団全体の技術を向上させるためにも、毎年コンクールに出場しています。

最後に浜田さんは「私たちブルーウインズは河内長野市を中心に様々な場所で活動しています。吹奏楽を通じて多くの人と出会えることを楽しみにしています」と話してくれました。